

第一个吃螃蟹的人

華東師範大学 4月報告書 デザイン4年 杉山歩乃佳



今月は「誰かと過ごす。」という目標達成のために自分から行動を起こしてみた。正直、まだ暇な日もあるがこれはアメリカと比べてしまっているからであり、中国の国民性や中国のキャンパスライフを考慮すると「一人で過ごす日も多い」のがここでの日常だ。実際、自分の部屋で週末や午後を過ごす留学生が多いことに気がついた。そもそも文芸大でも毎日アクティビティがあったわけではないし、一人で勉強することもあった。とにかく、アメリカとは違うのだから「一人で過ごす」ことから無理して抜け出すのではなく、受け入れて虚無感を感じないようにしてみた。

それより、一人時間をどう有効活用するかに頭を使うべきだ。一番にやるべきはデザインの課題だ。とは言っても授業数が少ないので課題は多くない。また、文芸と違い、途中経過を先生がじっくりみてアドバイスするというわけでもないで、過程にこだわって作成する必要はない。課題に割く時間は文芸より圧倒的に少なくてありがたい。また、私は写真の授業をメインに履修しているのので、暇な日は外に出て撮影している。一人時間があるからこそ、やるべきことに追われず、ただただ写真



撮影を楽しめている。他にも中国語のアニメを見たリ、英語を忘れないように勉強したりしている。二ヶ月が経っても全く中国語が上達しないので、もっと単語と文法を覚えなくてはいけない。一人時間を無駄にしないよう、もっと友達と会話が楽しめるよう頑張りたい。

そして、今月は自分から誘うことを増やしたおかげで友達と出かける日が増えた。例えば、友人と七浦路へ写真撮影に出かけた。七浦路は地元民向けの低価格の衣類店が多くあり、一九九〇年代の雰囲気を感じられる。薄暗い店内、マネキン、扉はあたたけど古いタイプの二ハオトイレなど、都市部上海ではなかなか見られない光景であった。上海出身の友達も来たことがなく、面白い瞬間ばかりで写真を撮り続けた。1つの巨大ビルのなかは全て衣類店で、販売している服はどれも同じである。どこのお店が一番いいのかゆっくり見たいのだが、客引きが強引すぎて買いたいところではなかった。また、オンラインショッピングが主流のため、お客さん相手に商売するというより、発送準備をしていた。雑多に置かれた衣服、ライブ配信をする人、寝る人、とにかく新体験の街だった。

また、四月五日は清明祭で祝日だった。偶然にも私の誕生日だったこともあり、旅行に行きたいという願いをルームメイトと一緒に来てくれた。蘇州は上海から新幹線で三十分の都市で、静寂な川と白壁の古い街並みが素敵だ。蘇州は美食の街としても有名で、京都のように食べ歩きが通りがいくつもある。そして、歴史的な寺や庭園を見に行ったが祝日だったため人が多すぎて観光どころではなかった。博物館に行くなら予約が必要だった。夜はボートに乗り、ライトアップされた街並みを楽しんだ。舟漕ぎのおばちゃんが昔の歌を歌いながらゆったりと進むあの時間は騒がしい街から逃避したようで素敵だった。



授業 パフォーマンスアート (2年生 / 公共芸術)

パフォーマンスアートとは何か、社会に、自分自身にどのような効果があるか過去の作品から学び、実際に体験し、感じ取っていく。個人での中間発表とグループでの最終発表ではパフォーマンスアートを考えて披露する。デザインというよりもアートの授業である。中国ではパフォーマンスアートは芸術の一つとして既に認知されていて、上海でもよくパフォーマンスアートの公演が行われる。



食べ物 飯店編

飯店はホールスタッフがいて、サービス込みのレストランのことである。1皿が大きく、大人数で行くとたくさんの種類の料理を食べられて且つ約50元と安い、2人で行くと100元を超える。飲み会になると日本とほぼ同じ値段で楽しむことができる。写真は火鍋で有名な海底捞で、ここのサービスはすごかった。待ち時間中にはスナックの提供、さらに無料のネイルサービスまで。火鍋の味も美味しく、中国の誕生日会によく利用されるらしい。



奇怪な食べ物 ザリガニ

小龙虾と呼ばれるザリガニを手づかみで食べる。カニよりも真っ赤で、意外と身は少ないが、ミンが美味しい。ザリガニを食べるときはビールを飲むというのが定番らしい。アメリカで食べたときはかなり高価だったが、上海では他の料理と変わらない値段である。中国に来たらぜひ食べてほしい。



交通機関

中国の公共交通機関は警備員が街の至る所にいるからか、安全で綺麗だ。バスや地下鉄の値段は乗る距離によって変わり、大体2元~8元。キャンパス内の移動でよく利用する自転車は学生割引の乗り放題があり、半年で52元。他にもタクシーとUber的な個人タクシーがあり、個人タクシーの方が安くて詐欺の心配がないため個人タクシーを利用する人が多い。皆アプリで予約するので、路上で捕まえようと思っても捕まらない。全ての支払い・予約はAlipayのでできるので便利だ。



中国の公園

中国の公園は日本と違い広くて自然豊かだ。公園によっては有料だったり、夕方に閉園したりする。遊具は少なく、芝生広場はあるが球技をするような運動場はない。利用者の年齢層も日本と異なり高齢者が多く、皆自由に集まっておしゃべりしたり、踊ったり、太極拳をしたりいろいろなことをしている。週末になると幼児の子連れ家族がピクニックをしている。公園によって特色があるので面白い。

